

「危険体感から得たリスク低減措置」の見える化

事例 「垂直タラップの昇降で落下」

背景（危険性又は有害性の特定）

定期的及び設備の不具合時に、自動搬送集積装置の上段で点検・修理を行う際、垂直タラップで昇降するとき、足を滑らせて落下する。



垂直タラップ

危険体感の実施（別添 危険体感報告書参照）

体感の目的は、垂直タラップ昇降時の3点タッチの確認。

リスクの見積もり

災害に至るプロセス	リスク見積もり（評価）				
	頻度	可能性	程度	合計点	リスクレベル
垂直タラップを昇降する時、足を踏み外して、足首を捻挫する。	1	1	3	5	

リスク低減措置の内容

垂直トラップを撤去し、設備上段までの階段を設置した。



低減措置後の結果

災害に至るプロセス	リスク見積もり（再評価）				
	頻度	可能性	程度	合計点	リスクレベル
垂直トラップを昇降する時、足を踏み外して、足首を捻挫する。					

別添

危険体感報告書

垂直タラップ昇降時の3点タッチ（H26. . 実施）

項目	ポイント
体感の目的	垂直タラップ昇降時の3点タッチの確認
体験人員	20名
時間	20分
準備機材	なし
実施場所	
安全に体感するためのポイント	<ul style="list-style-type: none">・固定垂直タラップの使用・荷揚げ用ロープと収納袋
体感前説明	<ul style="list-style-type: none">・昇降時の3点タッチ
実体感説明	参加者に一人ずつ3点タッチでタラップを昇降してもらう。 荷揚げ用ロープで荷物を昇降させる。 ロープの結び方の練習。
体感後説明	垂直タラップの昇降時に、3点タッチをせずあるいは、物を持って昇降したために発生した墜落・転落災害が多いことを説明。 岩壁登攀では、3点確保が原則だということも説明。
強調点	垂直タラップを昇降する際、3点タッチができるように物を持って昇降しないこと。 荷揚げ用ロープを設置し、労を惜しまず必ず使用すること。

体感風景と説明

【危険体感教育の状況】



片手に説明書を持って上ると“3点タッチ”できず墜落・転落の可能性があった。



タラップの昇降時には、必ず手・足を使った“3点タッチ”で昇降し、3点タッチの重要性を体感した。



物をもったまま、タラップを昇降せずに、荷揚げ用ロープ（収納袋）を使用した。



特に若年層には、荷揚げ用ロープの結び方の練習。（もやい結び・8の字結び）